

公共下水道使用料の引き上げ 改定理由と事業経営の努力問う

議員 本市の公共下水道事業は、昭和三十九年に事業を開始し、普及率は十五年度末で九二・八%

となつてゐる。今回、使用料の改定が提案されているが、その理由を聞きたい。



下水道管の布設工事(入野)

市長・下水道部長 今年度の当初予算では、下水道事業特別会計への一般会計からの繰入金金は、四七億円であり、下水道事業の歳入で最も大きな財源になつてゐる。その上、この四七億円の内、一九億円余は、本来、下水道使用料で賄うべき管理運営費に充てられてゐる。このことから、下水道財政の基盤を強化して、安定した経営のもとで、効率的・効果的な事業展開を図る必要がある。今回の改定は、最終的には、市民生活への影響ができる限り少ない範囲での使用料改定を提案した。

議員 下水道使用料を値上げしないための経営努力をしたのか聞きたい。

議員 下水道使用料を値上げしないための経営努力をしたのか聞きたい。

議員 下水道使用料を値上げしないための経営努力をしたのか聞きたい。

議員 下水道使用料を値上げしないための経営努力をしたのか聞きたい。

議員 下水道使用料を値上げしないための経営努力をしたのか聞きたい。

議員 下水道使用料を値上げしないための経営努力をしたのか聞きたい。

都市づくり条例の策定 市民との協働をめぐる論議

議員 都市づくりの仕組みやルールを総合的に定める平塚市都市(まち)信・直売機能、大型市民農園機能、収穫体験機能、農家が開設する市民農園機能の四つの機能整備が示されている。

議員 都市づくりの仕組みやルールを総合的に定める平塚市都市(まち)信・直売機能、大型市民農園機能、収穫体験機能、農家が開設する市民農園機能の四つの機能整備が示されている。

議員 都市づくりの仕組みやルールを総合的に定める平塚市都市(まち)信・直売機能、大型市民農園機能、収穫体験機能、農家が開設する市民農園機能の四つの機能整備が示されている。

議員 都市づくりの仕組みやルールを総合的に定める平塚市都市(まち)信・直売機能、大型市民農園機能、収穫体験機能、農家が開設する市民農園機能の四つの機能整備が示されている。

花と緑のふれあい拠点 「農の体験・交流の場」 基本計画の内容聞く

議員 旧県農総研跡地で二十一年度に開園が予定されている花と緑のふれあい拠点仮称整備にお

いて、本市は「農の体験・交流の場」基本計画を策定している。この基本計画における四つの整備機能の内容を聞きたい。

議員 今後の具体的な整備計画の方針を聞きたい。

議員 今後の具体的な整備計画の方針を聞きたい。

議員 今後の具体的な整備計画の方針を聞きたい。

議員 今後の具体的な整備計画の方針を聞きたい。



バス停のバリアフリーに向け 事業者と現地調査実施

議員 市内の歩道上に設置されているバス停の中には、道路構造物が障害となり、車いすでの乗降者にとって不便なところがある。こうしたバス停のバリアフリー化に向けた取り組みを聞きたい。

議員 市内を走る同社のワンストップバスの導入状況を聞きたい。

違反屋外広告物除却協力員制度 モデル地区拡大の考えは



協力員などによる除却活動

議員 本年度から、県と市の共同による違反屋外広告物除却協力員制度として、モデル地区に指定された中心市街地等の公道上の違反屋外広告物(はり紙、はり札、立看板)を住民ボランティアの違反屋外広告物除却協力員M・K・O(まちなか)が除却する活動をしている。これまでの活動の成果を伺いたい。

議員 本年度から、県と市の共同による違反屋外広告物除却協力員制度として、モデル地区に指定された中心市街地等の公道上の違反屋外広告物(はり紙、はり札、立看板)を住民ボランティアの違反屋外広告物除却協力員M・K・O(まちなか)が除却する活動をしている。これまでの活動の成果を伺いたい。